



**シラバス参照**

タイトル「**2016年度 教養科目シラバス**」、フォルダ「**2016年度 教養科目シラバスー「21世紀」問題群**」  
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	21世紀倫理学		
担当教員	<a href="#">天野 雅郎</a> <a href="#">永井 邦彦</a> <a href="#">鯉坂 恒夫</a>		
対象学年		クラス	
講義室		開講学期	後期
曜日・時限	火3	単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	全学部・全学年		
科目名 (英語表記)	The 21st Century Issues: Ethics		
授業の概要・ねらい	<p>この授業は、和歌山大学が目下、取り組んでいる「教養教育改革」の重点科目群（「21世紀」問題群）の一つとして、開講されます。</p> <p>この科目群は、その名の通りに「21世紀」を生きる、今の私たちにとって、どうしても問い掛けなくてはならない、重要な「問題群」を取り上げ、それぞれの問題（issue＝焦点・争点）を、主題化した授業で構成されています。</p> <p>この授業（「21世紀倫理学」）では、通常の意味における倫理――すなわち、人と人との間の倫理の枠を超え、人と人以外の存在――具体的には、動物や植物、機械や情報との間の倫理を考え、これまでとは違った立場から、まったく新しい視点で、未来の倫理学の可能性を探ることを狙いとしています。</p> <p>担当教員には、それぞれ専門領域を異にする3人の教員（哲学、ドイツ文学、デザイン情報工学）が顔を揃え、毎回、具体的なテーマを設定し、討論（ディスカッション）形式の授業を展開します。</p> <p>和歌山大学では、この授業以外には類例のない授業ですので、ご期待を願います。</p>		
授業計画	<p>①幕開（まくあき）</p> <p>②人間と動物の倫理（その1）</p> <p>③同上（その2）</p> <p>④同上（その3）</p> <p>⑤人間と植物の倫理（その1）</p> <p>⑥同上（その2）</p> <p>⑦同上（その3）</p> <p>⑧幕間（まくあい）</p> <p>⑨人間と機械の倫理（その1）</p> <p>⑩同上（その2）</p> <p>⑪同上（その3）</p> <p>⑫人間と情報の倫理（その1）</p> <p>⑬同上（その2）</p> <p>⑭同上（その3）</p> <p>⑮幕切（まくぎれ）</p>		
到達目標	「21世紀」の現状を認識し、その必須の課題（「倫理学問題群」）を理解すると共に、現代世界に相応しい、新たな「教養力」の獲得を目指します。		
成績評価の方法	定期試験（100％）		
教科書	使用しません。		
参考書・参考文献	適宜、紹介します。		
履修上の注意・メッセージ	現在、和歌山大学が取り組んでいる「教養教育改革」の重点科目の一つです。この科目を受講することで、本学の「教養教育改革」の現状が認識できると共に、いわゆる文系と理系の敷居を跨いだ、斬新な授業を体験できます。		
履修する上で必要な事項	特に、ありません。		

受講を推奨する関連科目	21世紀サイエンス論
授業時間外学習についての指示	自主的な学習とは、自分が自分の主人（⇔奴隷）となり、学（まな＝真似）び、習（なら＝慣）うための時間を確保することであり、そのような時間を産み出し、自分に宛がい、楽しむ（!）ことが、そもそも主人（subject＝主体）の資格であり、特権でもあることを、お忘れなく。
その他連絡事項	特に、ありません。



Copyright (c) 2008 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.